

事務事業チェックシート

事務事業No **361** 事業名 **妊産婦支援事業(両親教室)**

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		衛生費	
	項		保健衛生費	
	目		母子衛生費	
	大事業		母子衛生事業	
事項		妊産婦支援事業		

[長期総合計画]

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	1	地域福祉と健康づくりの推進
施策	2	健康づくりの推進
基本方針	2	母子保健対策の充実

[まち・ひと・しごと創生総合戦略]

基本目標	Ⅲ	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかかなえる
政策	2	妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援
施策	ア	子育て世代包括支援システムの構築

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束				○

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間	平成11年度 ~		
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	地域保健課	川口 隆弘 (488-5119)	
関連課			

1 事業概要及び実施内容

	事業目的 (「誰・何」をどういう状態にする) ための事業か)	事業内容				
事業概要	両親に子育てに関する学習の機会を提供することにより、父親の育児参加を促す。	妊産中及び子育て中の夫婦等を対象に、市報わかやまに掲載して参加を募り、子育てに関する学習の機会を提供する。 医師もしくは保健師による講義、ストレッチ、体験コーナー (沐浴体験、妊婦体験、栄養指導、歯科相談) を体験してもらう。				
実施内容	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	市主催の事業は廃止 (平成25年度~)。和歌山市母子保健協議会主催で年に2回開催。 妊産中及び子育て中の夫婦に、医師もしくは保健師による講義、妊婦体験、ストレッチ、体験コーナー (沐浴体験、妊婦体験、栄養指導、歯科相談) を体験してもらう。	市主催の事業は廃止。和歌山市母子保健協議会主催で年に2回開催。 妊産中及び子育て中の夫婦に、医師もしくは保健師による講義、妊婦体験、ストレッチ、体験コーナー (沐浴体験、妊婦体験、栄養指導、歯科相談) を体験してもらう。	市主催の事業は廃止。和歌山市母子保健協議会主催で年に2回開催。 妊産中及び子育て中の夫婦に、医師もしくは保健師による講義、妊婦体験、ストレッチ、体験コーナー (沐浴体験、妊婦体験、栄養指導、歯科相談) を体験してもらう。	市主催の事業は年1回、和歌山市母子保健協議会主催で年2回で計3回開催。 妊産中及び子育て中の夫婦に、医師もしくは保健師による講義、妊婦体験、ストレッチ、体験コーナー (沐浴体験、妊婦体験、栄養指導、歯科相談) を体験してもらう。	市主催の事業は年1回、和歌山市母子保健協議会主催で年2回で計3回開催。 妊産中及び子育て中の夫婦に、医師もしくは保健師による講義、妊婦体験、ストレッチ、体験コーナー (沐浴体験、妊婦体験、栄養指導、歯科相談) を体験してもらう。	市主催の事業は年1回、和歌山市母子保健協議会主催で年2回で計3回開催。 妊産中及び子育て中の夫婦に、医師もしくは保健師による講義、妊婦体験、ストレッチ、体験コーナー (沐浴体験、妊婦体験、栄養指導、歯科相談) を体験してもらう。

2 事業コスト

	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費					0	0	118			118
伸び率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-		0.0%
人件費	常勤職員	4,085	4,085	3,616	3,616	3,582	3,502			3,502
	非常勤職員	0	0	0	0	0	0			0
	小計	4,085	4,085	3,616	3,616	3,582	3,502			3,502
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他										
一般財源 (税等)					0	0	118			118
所要人数	常勤職員	0.54	0.54	0.49	0.49	0.47	0.47			0.47
	非常勤職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0			0
主な予算内訳	報償金61千円、消耗品費57千円									

3 目標及び実績

		指標名及び達成状況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
活動指標	参加者数	年度目標値	200	180	200				
		実績値	126	174	162				
	単位 人	全体目標値							
		全体目標達成度	年度別達成度	63.0%	96.7%	81.0%			
成果指標	参加満足度	年度目標値	90	100	100				
		実績値	83	90	85				
	単位 %	全体目標値							
		全体目標達成度	年度別達成度	92.2%	90.0%	85.0%			
単位	全体目標値								
	全体目標達成度	年度別達成度							

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持		○		
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	継続的に事業ニーズがある。
「見直し」 「改善」案	参加者からの要望も高く、拡充を考えている。